

世界保健機関（WHO）ナミビア事務所表敬訪問 （令和8年7月31日）

令和8年7月31日、日本大使館館員が、ウィントフック市内の国連事務所内にある世界保健機関（WHO）ナミビア事務所を表敬訪問しました。

今回の訪問では、WHOが実施している「がん治療・診断の強化」および「保健安全保障の強化」という2つの日本政府拠出の補正予算資金プロジェクトについて、進捗状況や今後の見通しを双方で確認しました。また、大使館の人事異動について通知するとともに、離任者および着任者から挨拶を行いました。



（左より）チホ現地職員（大使館）、高村医務官（大使館）マカタネ職員（WHO）、三原医務官（大使館）、アシパラ代表代理（WHO）、山田書記官（大使館）、松隈書記官（大使館）